



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7885 URL <https://www.takano-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,942	△43.4	△579	—	△513	—	△393	—
2020年3月期第1四半期	5,200	△9.4	172	△31.4	184	△40.6	88	△66.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △412百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 30百万円 (△86.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△25.93	—
2020年3月期第1四半期	5.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	34,489	28,743	83.3	1,891.47
2020年3月期	36,392	29,398	80.8	1,934.62

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,743百万円 2020年3月期 29,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

なお、詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	15,721,000株	2020年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	524,811株	2020年3月期	524,811株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	15,196,189株	2020年3月期1Q	15,196,189株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた政府による緊急事態宣言の発出による外出・移動制限がなされたことにより、広く社会・経済活動が停滞し、景気は大きく減速いたしました。また、緊急事態宣言解除後においては、経済活動も段階的に再開され、景気は持ち直しに向かうことが期待されているものの、感染症拡大にかかる今後の状況およびさらなる米中貿易摩擦の激化等の先行きの如何により、持ち直しの動きは不透明な状況であります。

このような状況において、当社は、全社的な新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しつつ業務を継続してまいりましたが、緊急事態宣言の発出にともなう顧客企業の営業活動の自粛等による影響は避けられず、販売・生産は減少しましたが、工場の稼働調整や徹底した経費削減等により、費用の圧縮に努めてまいりました。

しかしながら、主に住生活関連機器事業および検査計測機器事業の販売の大幅な減少により、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,942百万円で、前年同四半期比2,257百万円、43.4%の減収となりました。

利益面につきましては、抜本的な経費削減等全社的な収益改善施策に取り組んだもののものの、販売の大幅な減少による影響により、営業損失579百万円（前年同四半期は営業利益172百万円）、経常損失513百万円（前年同四半期は経常利益184百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、393百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益88百万円）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	2,020	1,305	△35.4%	△69	△313	－%
検査計測機器	2,055	800	△61.1%	186	△227	－%
産業機器	507	356	△29.9%	25	△25	－%
エクステリア	248	220	△11.4%	11	△0	－%
機械・工具	366	260	△29.0%	9	△0	－%
報告セグメント計	5,200	2,942	△43.4%	163	△567	－%
セグメント間取引消去	－	－	－%	8	△12	－%
合計	5,200	2,942	△43.4%	172	△579	－%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、緊急事態宣言発出期間中の顧客による営業自粛にともなう受注の減少を受け、工場の稼働調整による在庫水準の適正化に加え、徹底した経費削減等による固定費用の縮減等を図ってまいりました。

しかしながら、顧客による営業自粛にともなう受注の減少の影響は大きく、売上高は1,305百万円で前年同四半期比715百万円、35.4%の減収となりました。利益面においても大幅な受注の減少を受け、セグメント損失は313百万円（前年同四半期はセグメント損失69百万円）となりました。

(検査計測機器)

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた渡航制限が行われる中、リモートによる海外顧客向け装置立上作業の実施に取り組む他、移動をとともなう営業活動に制約があるなか、半導体関連検査装置・電池部材向け検査装置等の受注活動に重点的な取り組みを行ってまいりました。

しかしながら、渡航制限を受けた海外向け装置立上作業の停滞による客先検収の先送り等の影響は大きく、売上高は800百万円で前年同四半期比1,255百万円、61.1%の減収となりました。利益面では、固定費用を中心に積極的なコストダウンを推し進めたものの、販売の減少による影響は大きく、セグメント損失は227百万円(前年同四半期はセグメント利益186百万円)となりました。

(産業機器)

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司およびTakano of America Inc.で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット(ばね)製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、主力販売先である自動車製造業界における工場の稼働停止などにより、販売が大きく落ち込むなか、工場の稼働調整・徹底した経費削減等による固定費用の縮減等を図ってまいりました。

しかしながら、売上高は356百万円で前年同四半期比151百万円、29.9%の減収となりました。利益面では販売の減少にとともなう粗利益減少の影響等により、セグメント損失は25百万円(前年同四半期はセグメント利益25百万円)となりました。

(エクステリア)

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、集客施設におけるオーニング等の物件を中心に、WEB展示会などネット環境での販売にも注力し、短納期での案件にも対応するなど受注体制の拡充に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上高は220百万円で前年同四半期比28百万円、11.4%の減収となりました。利益面では、積極的な経費削減活動等に努めたものの、セグメント損失は0百万円(前年同四半期はセグメント利益11百万円)となりました。

(機械・工具)

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、顧客である製造業での工場稼働の停止の影響を受け、売上高は260百万円で前年同四半期比106百万円、29.0%の減収となりました。利益面ではセグメント損失は0百万円(前年同四半期はセグメント利益9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末と比較し、1,971百万円減少の19,687百万円となりました。これは主に、売掛代金の回収が進んだこと等により現金及び預金が533百万円増加および受取手形及び売掛金が3,065百万円減少したこと、客先検収の先送りにより仕掛品が307百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は前連結会計年度末と比較し、68百万円増加の14,802百万円となりました。これは主に、減価償却費の計上等により有形固定資産合計が52百万円、無形固定資産合計が16百万円減少した一方、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が150百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は34,489百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,902百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末と比較し、1,231百万円減少の4,907百万円となりました。これは主に、検査計測装置の大口物件の納入により前受金が208百万円増加した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が1,032百万円、当四半期中の賞与の支給により賞与引当金が305百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比較し、655百万円減少の28,743百万円となりました。これは主に、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失の計上および親会社による配当金の支払い等により利益剰余金が637百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.8%から83.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから、未定とさせていただきます。業績予想につきましては、合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,650,039	8,183,984
受取手形及び売掛金	8,978,963	5,913,337
商品及び製品	647,428	663,777
仕掛品	3,183,137	3,491,014
原材料及び貯蔵品	1,061,384	1,225,069
その他	137,825	210,332
流動資産合計	21,658,779	19,687,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,865,354	3,881,879
機械装置及び運搬具(純額)	996,986	948,112
土地	4,241,294	4,241,294
その他(純額)	859,191	839,167
有形固定資産合計	9,962,827	9,910,454
無形固定資産		
のれん	115,254	105,087
その他	199,920	193,648
無形固定資産合計	315,174	298,736
投資その他の資産		
投資有価証券	3,329,938	3,318,561
その他	1,131,835	1,280,693
貸倒引当金	△6,198	△6,198
投資その他の資産合計	4,455,575	4,593,056
固定資産合計	14,733,577	14,802,246
資産合計	36,392,357	34,489,761

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,429,617	861,103
電子記録債務	2,074,133	1,609,861
未払法人税等	122,619	19,294
前受金	986,671	1,195,200
賞与引当金	421,058	115,547
その他	1,105,432	1,106,798
流動負債合計	6,139,532	4,907,806
固定負債		
長期借入金	96,400	78,880
退職給付に係る負債	440,290	447,956
その他	317,258	311,925
固定負債合計	853,948	838,761
負債合計	6,993,480	5,746,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	24,964,385	24,327,285
自己株式	△272,477	△272,477
株主資本合計	29,063,225	28,426,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244,955	237,503
為替換算調整勘定	32,170	22,565
退職給付に係る調整累計額	58,524	56,998
その他の包括利益累計額合計	335,651	317,067
純資産合計	29,398,877	28,743,192
負債純資産合計	36,392,357	34,489,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,200,307	2,942,323
売上原価	3,955,440	2,505,148
売上総利益	1,244,867	437,174
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	265,139	271,040
賞与引当金繰入額	46,469	39,175
退職給付費用	11,417	11,294
研究開発費	170,026	209,893
その他	579,220	485,695
販売費及び一般管理費合計	1,072,273	1,017,099
営業利益又は営業損失(△)	172,594	△579,924
営業外収益		
受取利息	4,606	4,484
受取配当金	15,554	15,137
助成金収入	—	37,864
為替差益	—	175
その他	13,294	13,166
営業外収益合計	33,456	70,828
営業外費用		
支払利息	711	525
固定資産除売却損	5,687	1,215
為替差損	12,675	—
その他	2,697	2,165
営業外費用合計	21,771	3,906
経常利益又は経常損失(△)	184,278	△513,003
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	184,278	△513,003
法人税、住民税及び事業税	31,561	19,710
法人税等調整額	64,404	△138,751
法人税等合計	95,966	△119,041
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,311	△393,961
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	88,311	△393,961

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,311	△393,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,088	△7,452
為替換算調整勘定	1,627	△9,605
退職給付に係る調整額	277	△1,525
その他の包括利益合計	△58,183	△18,583
四半期包括利益	30,127	△412,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,127	△412,545
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	2,020,891	2,055,897	507,953	248,861	366,704	5,200,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,560	53	7	2,964	56,479	74,063
計	2,035,451	2,055,950	507,960	251,825	423,183	5,274,371
セグメント利益又は損失(△)	△69,414	186,708	25,567	11,682	9,119	163,663

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	163,663
セグメント間取引消去	8,930
四半期連結損益計算書の営業利益	172,594

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	1,305,056	800,078	356,324	220,570	260,293	2,942,323
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,014	567	2,150	5,237	96,998	116,968
計	1,317,070	800,646	358,475	225,808	357,291	3,059,292
セグメント損失(△)	△313,192	△227,134	△25,515	△841	△982	△567,666

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△567,666
セグメント間取引消去	△12,258
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△579,924

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。